

(3) アルカリ土類金属又はアルカリ金属 本品 2.0 g を水 150 mL に溶かし、硫化アンモニウム試液を加えて沈殿を完結させ、水を加えて正確に 200 mL としてよく振り混ぜ、乾燥ろ紙を用いてろ過する。初めのろ液 20 mL を除き、次のろ液 100 mL を正確に量り、蒸発乾固し、強熱残分試験法を準用して強熱するとき、残留物は 5.0 mg 以下である。

(4) ヒ素 本品 1.0 g をとり、第 1 法により検液を調製し、装置 B を用いる方法により試験を行う (2 ppm 以下)。

定量法 本品約 0.3 g を精密に量り、水に溶かし正確に 100 mL とする。この液 25 mL を正確に量り、水 100 mL 及び pH 10.7 のアンモニア・塩化アンモニウム緩衝液 2 mL を加え、0.01 mol/L エチレンジアミン四酢酸二水素二ナトリウム液で滴定する (指示薬: エリオクロムブラック T・塩化ナトリウム指示薬 0.04 g)。

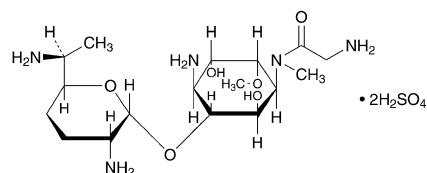
0.01 mol/L エチレンジアミン四酢酸二水素二ナトリウム液 1 mL
= 2.8756 mg ZnSO₄ • 7H₂O

貯法 容器 気密容器。

硫酸アストロマイシン

Astromicin Sulfate

アストロマイシン硫酸塩



C₇₇H₈₆N₈O₆ • 2H₂SO₄ : 601.65

4-Amino-1-(2-amino-N-methylacetylamo)-1,4-dideoxy-3-O-(2,6-diamino-2,3,4,6,7-pentadeoxy-β-L-lyxo-heptopyranosyl)-6-O-methyl-1L-chiro-inositol disulfate [72275-67-3]

本品は日本抗生物質医薬品基準の硫酸アストロマイシンの条に適合する。

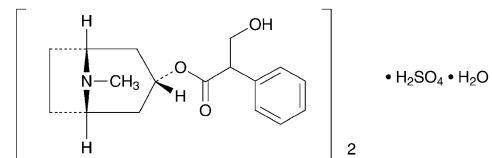
性状 本品は白色～淡黄白色の粉末又は塊である。

本品は水に極めて溶けやすく、エチレングリコールにやや溶けにくく、メタノール、エタノール (95) 又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。

硫酸アトロピン

Atropine Sulfate

アトロピン硫酸塩



(C₁₇H₂₃NO₃)₂ • H₂SO₄ • H₂O : 694.83

(1*R*, 3*r*, 5*S*)-8-Methyl-8-azabicyclo[3.2.1]oct-3-yl [(*RS*)-3-hydroxy-2-phenyl]propanoate hemisulfate hemihydrate [5908-99-6]

本品を乾燥したものは定量するとき、硫酸アトロピン [(C₁₇H₂₃NO₃)₂ • H₂SO₄ : 676.82] 98.0 % 以上を含む。

性状 本品は無色の結晶又は白色の結晶性の粉末で、においはない。

本品は水又は酢酸 (100) に極めて溶けやすく、エタノール (95) に溶けやすく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。

融点: 188 ~ 194 °C (分解)。乾燥後、180 °C の浴液中に挿入し、1 分間に約 3 °C 上昇するように加熱を続ける。

本品は光によって変化する。

確認試験

(1) 本品 1 mg に発煙硝酸 3 滴を加え、水浴上で蒸発乾固し、残留物を *N,N*-ジメチルホルムアミド 1 mL に溶かし、テトラエチルアンモニウムヒドロキシド試液 5 ~ 6 滴を加えるとき、液は赤紫色を呈する。

(2) 本品の水溶液 (1 → 50) 2 mL にテトラクロロ金 (III) 酸試液 4 ~ 5 滴を加えるとき、光沢を帯びない黄白色の沈殿を生じる。

(3) 本品の水溶液 (1 → 25) 5 mL にアンモニア試液 2 mL を加えて 2 ~ 3 分間放置した後、析出した結晶をろ取り、水で洗い、デシケーター (減圧、シリカゲル) で 4 時間乾燥したものの融点は 115 ~ 118 °C である。

(4) 本品の水溶液 (1 → 20) は硫酸塩の定性反応を呈する。

純度試験

(1) 溶状 本品 0.5 g を水 10 mL に溶かすとき、液は無色透明である。

(2) 酸 本品 1.0 g を水 20 mL に溶かし、0.02 mol/L 水酸化ナトリウム液 0.30 mL 及びメチルレッド・メチレンブルー試液 1 滴を加えるとき、液の色は緑色である。

(3) 他のアルカロイド 本品 0.25 g を薄めた塩酸 (1 → 10) 1 mL に溶かし、水を加えて 15 mL とし、試料溶液とする。

(i) 試料溶液 5 mL にヘキサクロロ白金 (IV) 酸試液 2 ~ 3 滴を加えるとき、沈殿を生じない。

(ii) 試料溶液 5 mL にアンモニア試液 2 mL を加えて強く振り混ぜるととき、液の混濁は次の比較液より濃くない。

比較液: 0.01 mol/L 塩酸 0.30 mL に希硝酸 6 mL 及び